

国際ロータリー第2550地区【栃木】2022-2023 年度

ガバナー月信

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube

GOVERNOR'S
message

R.I.D 2550 tochigi

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol.8
2023.02



contents

アイコンをクリックでそのページにとびます。



イマジン
ロータリー

01

02

Governor's
message

ガバナーメッセージ

ガバナー 公式訪問
11/17 足利わたらせ RC

03

Governor's
Official Visit

04

行事実施報告

創立 50 周年記念事業
福祉車両（車椅子乗車可能特殊車両）贈呈
馬頭小川ロータリークラブ

05

主要行事予定

06

会員数報告

07

新入・物故会員

08

コーディネーター NEWS・ハイライトよねやま

地区大会報告

<後編・写真&寄稿>

09

10

NEWS

寄稿募集のお知らせ

11

Governor's
gallery

ガバナーギャラリー



My ROTARY - Rotary International



イマジン
ロータリー

01



イマジン ロータリー

2022-23 年テーマ『イマジンロータリー』

ジェニファー・ジョーンズ会長は、会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけています。

4つの テスト

＜言行はこれに照らしてから＞

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか





ガバナーメッセージ

さ ん き な お み ち

佐貫 直通

Governor's Message

国際ロータリー第 2550 地区 2022-23 年度ガバナー
宇都宮陽東ロータリークラブ

「平和構築と紛争予防」月間

国際ロータリー・第 2550 地区のみなさん、こんにちは。

今月は「平和構築と紛争予防」月間です。

世界中の人々が平和を願っているにもかかわらず、残念ながら今現在も世界の様々な場所で紛争は起きています。紛争によって命を落とす人々、日々の暮らしを脅かされている人々、差別を受けている人々、教育が受けられない人々…穏やかな暮らしをうばわれている弱者が世界中にはたくさんいます。

せめてロータリアンひとりひとりが、「平和構築」「紛争予防」に向けてできることはないか、自分の行動で役に立つことはないかを考える機会を持ってほしいと思います。ひとりでは小さな力でも、集まれば大きな力になります。声を上げ、できることから実行していきましょう。

第 2550 地区では、石田直前ガバナーが財団活動資金 (DDF) から ウクライナに 2 万ドルの支援をいたしました。

また今年度は全国の地区が協同し、ロータリー財団の「災害救援基金」を使って、ウクライナのために仮設住居 (モジュラーハウス)・消防車・救急車などを支援することになり、当地区では「モシュン村プロジェクト」に参画しました。このプロジェクトは、300 棟のモジュラーハウスの設置を目標に取り組んでいます。「災害救援基金」は、一地区 1 回で最大 2.5 万ドルを上限として、災害にあった地域を支援するための基金です。当地区では今年度、初めて取り組んでいます。

詳しい内容は、先月のガバナー月信にロータリー財団の森本委員長が原稿を寄せて下さいましたので、ぜひご一読ください。

いくつかいただいたご質問にお答えしたいと思います。

ロータリーが平和構築のためにやっている数々の取り組みを教えてください

ロータリーの倫理観、四つのテストを始めロータリー哲学が人類の平和につながる国際的な活動として主に、

ポリオプラス・ロータリー行動グループ・ロータリー地域社会共同隊・ロータリー親睦

活動・ロータリー友情交換・ロータリー平和センターがあります。

特に、ロータリー平和センターについては、世界に 7 つある平和センターで平和と紛争解決について学ぶための国際教育プログラムが実施されています。

本プログラムを支援する日本ロータリー平和センター基金が設立されました。

世界各地で起こっている紛争に対し、ロータリーができることは何だと思いますか？

各国との親ばく・友愛をもつての地道な国際貢献が、実を結んでいくでしょう。この点では、1 年交換学生や米山記念奨学生など、多くの関係者の努力があります。

ガバナーからの
メッセージ動画は
youtube で
視聴できます。

YouTube
GOVERNOR'S
message



紛争を予防するためには何が必要だと考えますか？

他国の、伝統・文化・習慣・宗教・考えかたなど、多様性に満ちた点が多いと思いますが、相手を知り理解すること、それに真摯に取り組んで行く事が、平和につながるのではないのでしょうか。相手国への理解なしでは進まないでしょう。そのためにも、ロータリーの多くの活動が絡み合って、大きな平和活動となっているのではないのでしょうか。



私たちロータリアンは、身近な（身の回りの）「平和構築と紛争予防」のためにどのような心がけが必要だと思いますか？

ロータリアンだからこそ取り組めるロータリー活動が、平和構築・紛争予防につながっていくと思います。世界平和・人類の友情には、人道的活動・文化交流・教育プログラムなどをロータリーが幅広く社会に提供し、5大奉仕部門を通じて、ロータリーの奉仕目標の達成をしていくことが重要だと考えます。ロータリークラブで、国籍・人種・性別・年齢を乗り越え、語り合いまたお互いが助け合う社会で、日本の和の精神・共助の精神をつちかうことこそが、地球の平和につながっていきます。「社会に良いことを」展開していきましょう。

コロナ明けとはなっていませんが、今 皆さんの力が必要です。
私達 皆で取り組んでいきましょう！

モシュン村

https://www.youtube.com/watch?v=TnJr1z_2z3U



2022.11.17

Governor's
Official Visit

足利わたらせロータリークラブ

会長 林 貴義
幹事 倉林 敬

2022年11月17日(木曜日)、ニューミヤコホテル足利本館に於いて、第2550地区ガバナー佐貫直通様、第8グループガバナー補佐石井敏夫様をお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。随員として、宇都宮陽東ロータリークラブの野村剛久会員と岩本達之会員のお二方が同行されて来られました。

【会長・幹事懇談会】

11時より始まった会長・幹事懇談会には、佐貫ガバナー、石井ガバナー補佐のほか、当クラブからは林貴義会長、倉林敬幹事、源田晃澄会員増強委員長の3名と、オブザーバーとして随員の2名の計7名が参加して行われました。石井ガバナー補佐の司会進行のもと、「クラブ会長事前報告・質問事項」及び「クラブ協議会報告」に沿って、当クラブの今年度の奉仕活動の状況を、わたらせ杯少年・少女野球大会や財団補助金を活用した山火事防止キャンペーン(天狗山ウォークラリー)を中心に説明し、会員増強への取り組みについて意見交換を行いました。今後、会を運営していくためのガバナーのお考えを聞くことができ、有意義な懇談となりました。

【例会】

公式訪問例会は12時半より始まり、通常の例会と同様1時半までの1時間で終わりました。ガバナー卓話では、今年度のテーマについて、DEIを中心に解説していただき、この後の質疑応答にも丁寧に対応してくださり、久しぶりのガバナーのクラブ例会への出席ということで、緊張した雰囲気の中、私も会員一同得がたい時間を過ごすことができました。最後に参加者全員で記念写真を撮り、例会を終えました。

【オープンディスカッション】

例会の後、オープンディスカッションを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は開催を見合わせました。





馬頭小川ロータリークラブ創立 50 周年記念事業の一つとして、地元那珂川町社会福祉協議会に「車椅子乗車可能な福祉車両」を 1 台贈呈しました。

同社会福祉協議会からも大変喜ばれ、令和 4 年 12 月 6 日に贈呈式を催していただきました。

高齢社会において、足の衰えや様々な事情から歩行困難者が年々増えて来ている中、同社会福祉協議会で所有する車椅子乗車可能な特殊車両の稼働が増え、貸出に困難を来しているとの状況を受け、当クラブが本年創立 50 周年に伴い、記念事業の一つとして会員一同で考え、最新の特殊車両に「ロータリーロゴマーク」を両面に、また「馬頭小川ロータリークラブ創立 50 周年記念事業」も塗装、ロータリーの公共イメージ、社会奉仕活動 PR を思量した上でお役に立てる形のものとして、この車両を贈呈しました。

尚、車両の贈呈に限らず引き続きロータリーアンの地域貢献、社会奉仕活動を行い続けることは言うまでもありません。

（幹事 大熊貞雄）



22-23 年度 地区内主要行事

月	日	曜日	行 事	場 所	担 当
2	4	土	第9グループIM		第9グループ
2	5	日	第3回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第2回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮	ガバナー事務所
2	5	日	第6グループ IM		第6グループ
2	9	木	第3グループAB IM	ホテルニューイタヤ	第3グループAB
2	11	土	23-24年度財団補助金管理セミナー	ベルヴィ宇都宮	地区財団補助金委員会
2	12	日	青少年交換オリエンテーション日本文化体験	宇都宮 多気山不動尊	地区青少年交換委員会
2	18	土	23-24地区チーム研修セミナー	ベルヴィ宇都宮	佐野RC・ガバナー事務所
2	18	土	23-24年度第4回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮	
2	18	土	第8グループIM	ニューミヤコホテル	第8グループ
2	19	日	第1グループIM	ホテル花月	第1グループ
2	25	土	第5グループIM	小山グランドホテル	第5グループ
2	26	日	米山記念奨学会 修了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
3	5	日	第4グループIM	フォーシーズン静風	第4グループ
3	19	日	23-24会長エレクト研修セミナー (P E T S)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	19	日	23-24幹事エレクト研修セミナー (S E T S)	葛生あくとプラザ	ホスト:葛生RC
3	26	日	第7グループIM	ニューサンピア	第7グループ
4	9	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション		地区米山記念奨学会委員会
4	14	金	第25回親善野球大会 前々夜祭 (予定)	調整中	ホスト:鹿沼RC
4	16	日	第25回親善野球大会 (予定)	鹿沼運動公園野球場	ホスト:鹿沼RC
4	16	日	23-24年度派遣学生 オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
4	23	日	「会員規定を理解し変化に対応する」為のセミナー パート2	ホテルニューイタヤ	地区研修委員会
5	14	日	23-24地区研修・協議会	佐野日大高校	ホスト:田沼RC
5	14	日	23-24年度第5回ガバナー補佐研修	佐野日大高校	
5	20	土	宇都宮陽東ロータリークラブ創立30周年記念式典・祝賀会	ベルヴィ宇都宮	宇都宮陽東RC
6	4	日	22-23青少年交換最終オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	8or15	木	23-24年度第6回ガバナー補佐研修		
6	11	日	高校生RYLAセミナー		地区RYLA委員会
6	18	日	米山 第1回地区米山委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

国際ロータリー第 2550 地区 12 月会員数報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数									40歳未
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	満	
第1 グ ル ー プ	大 田 原	4	24	23	0	0	0	1	-1	1	0	
	黒 磯	3	33	35	0	0	2	0	2	3	0	
	西 那 須 野	3	47	48	0	1	2	1	1	3	0	
	黒 羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大 田 原 中 央	3	24	22	0	0	0	2	-2	1	2	
第2 グ ル ー プ	烏 山	3	15	15	0	0	0	0	0	2	0	
	氏 家	3	23	23	0	0	0	0	0	2	0	
	矢 板	2	10	9	0	0	0	1	-1	1	0	
	馬 頭 小 川	3	21	18	0	3	0	3	-3	0	0	
	高 根 沢	2	14	14	0	0	0	0	0	0	0	
第3 A グ ル ー プ	宇 都 宮	3	105	104	1	2	4	5	-1	3	1	
	宇 都 宮 西	4	68	67	1	0	2	3	-1	0	2	
	宇 都 宮 北	4	41	44	0	0	3	0	3	0	1	
	宇 都 宮 90	2	45	44	0	0	0	1	-1	5	2	
	(宇都宮90結・衛星)	2	4	4	0	0	0	0	0	3	2	
	宇 都 宮 陽 北	4	46	47	0	0	1	0	1	9	9	
	宇 都 宮 東	4	113	109	0	4	1	5	-4	0	3	
第3 B グ ル ー プ	宇 都 宮 南	4	57	55	0	0	0	2	-2	7	1	
	宇 都 宮 陽 東	3	49	49	0	0	0	0	0	9	1	
	宇 都 宮 陽 南	4	23	23	0	1	1	1	0	7	4	
	宇 都 宮 さ つ き	3	26	26	0	0	0	0	0	4	2	
	真 岡 西	4	54	52	0	2	0	2	-2	0	0	
第4 グ ル ー プ	益 子	3	31	31	0	0	0	0	0	2	0	
	真 岡 西	3	39	39	0	0	0	0	0	5	0	
	下 野 上 三 川	2	19	19	0	0	0	0	0	3	0	
	小 山 山	3	22	21	0	0	0	1	-1	1	0	
第5 グ ル ー プ	小 山 南	4	14	15	0	0	1	0	1	2	0	
	小 山 東	3	22	22	0	0	0	0	0	0	0	
	小 山 北	3	23	21	0	2	0	2	-2	0	4	
	小 山 中 央	3	24	24	0	0	0	0	0	2	0	
	栃 木	2	47	48	0	0	1	0	1	5	0	
第6 グ ル ー プ	栃 木 西	3	34	34	0	0	0	0	0	1	0	
	岩 舟	3	10	10	0	0	0	0	0	0	0	
	壬 生	4	17	18	0	1	2	1	1	1	0	
	栃 木 南	4	40	40	0	0	0	0	0	9	1	
	日 光	4	21	21	0	0	0	0	0	4	0	
第7 グ ル ー プ	鹿 沼	4	65	65	0	0	0	0	0	2	2	
	今 沼 市	2	41	42	0	1	3	2	1	1	1	
	鹿 沼 東	3	37	36	0	1	1	2	-1	5	0	
	鹿 沼 中 央	3	17	17	0	0	0	0	0	2	0	
	今 沼 市 き ぬ	2	27	29	0	0	2	0	2	0	0	
第8 グ ル ー プ	足 利	2	23	23	0	0	0	0	0	1	0	
	足 利 東	3	30	33	0	1	4	1	3	2	0	
	足 利 西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
	足 利 わ た ら せ	3	35	31	0	4	0	4	-4	0	0	
第9 グ ル ー プ	佐 野	3	55	55	0	0	1	1	0	0	0	
	葛 生	3	36	36	0	0	0	0	0	0	0	
	田 沼	4	44	44	0	0	2	2	0	0	0	
	佐 野 東	3	21	22	0	0	1	0	1	2	0	
	48RC		1654	1645	2	23	34	43	-9	111	38	

新入会員紹介



おばなかずひろ

尾花一浩

鹿沼東

2023年1月11日入会

有限会社
尾花コンサルティングファーム
代表取締役

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

追悼

田村 一夫 たむらいちお

2023年1月14日逝去（享年79歳）

所 属 宇都宮南ロータリークラブ

1991-1992 副幹事
1992-1993 副幹事
1996-1997 幹事
1997-1998 職業奉仕委員会 委員長
2000-2001 会報委員会 委員長
2004-2005 副会長・クラブ奉仕委員会 委員長
2005-2006 会長
2006-2007 会員組織委員会 委員長・会員選考委員会 委員長

2007-2008 職業分類委員会 委員長
2009-2010 ロータリー情報委員会 委員長
2010-2011 会員組織委員会 委員長
2012-2013 副S.A.A
2013-2014 会計監査
2014-2015 米山記念奨学会委員会 委員長
2016-2017 ロータリー情報委員会 委員長
2021-2022 友好クラブ互理委員会 委員長
2022-2023 ロータリー情報委員会 委員長

ロータリー財団 マルチプルボール・ハリス・フェロー4

米山功労者 マルチプル5回



◆◆◆ ご冥福をお祈り致します ◆◆◆



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 庄司 尚史 (境港)

ガバナーエレクトの皆さんは大変忙しい時期になりました。1月の国際協議会にご苦労さまでした。3年ぶりのリアルでの集まり、初めてのオランダでの開催と興味津々です。次年度に向けてゴードン R.マッキナリーRI 会長エレクトの方針をそれぞれの地区でどう具現化するか検討中だと思います。

「世界に希望を生み出そう」というテーマの中に世界平和を目指すロータリーの並々ならぬ意欲を感じます。すべてのロータリアンが一日も早くウクライナに平穏な日々が戻ることを望んでいます。

ゴードン会長エレクトのテーマ講演の中で私が驚いた数字の発表がありました。それはポリオプラスに関するものです。「ポリオ根絶キャンペーンに寄付をしているロータリー会員は12人に1人に過ぎない。毎年寄付をしているクラブは5分の1を下回っている」というものです。RIの最優先課題のポリオ根絶のためにまだまだ努力が必要だと感じました。日本では佐藤芳郎RI理事のご提唱で、昨年の10月24日の世界ポリオデーのイベントが全国各地で開催されました。11月のロータリー研究会でフォトコンテストがあり大変好評でした。次年度も引き続き開催してほしいという声をあちこちから聞きました。日本からポリオ根絶の盛り上がりを世界に広げたいものです。次年度との連携が大切です。ポリオ根絶のテーマを是非次年度に引き継いでいきましょう。

今年度もまだまだ時間が残っています。コロナ禍の中でクラブの活力はいかがでしょう？ ガバナー、クラブ会長の皆さんの頑張りどころだと思います。RI 細則 16.030.にはガバナーの任務が明記しており、その(a)には「新クラブを結成すること」とあります。お忘れになっているガバナーもいらっしゃるでしょう。大変ハードルが高い任務だと思いませんか？ 私の実現できませんでした。今年度達成した地区は僅かです。まだの地区は衛星クラブを検討されてはいかがでしょう？ 8人揃えば結成できます。スポンサークラブの会長の実行力に期待です。地区として後押しをお願いします。

会員増強もご苦労が続いています。国内の会員数は2022-23年度10月末のデータ（ロータリーの友1月号）を見ると対前年比335人の減少です。私が所属するクラブは2名の純増ですが次年度に向けて検討していることがあります。それは「法人会員」制度の導入です。ロータリーの名前は知っているが実際に時間が取れない等しり込みをされている法人があります。クラブに代理の社員さんを派遣していただくことは双方にメリットがあると考えます。皆さんもご検討してみてください。



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 簡 仁一（茨木）

今年度から第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐を拝命しました茨木 RC の簡仁一と申します。よろしくお願いいたします。

ロータリー公共イメージコーディネーターは今年度、佐藤芳郎 RI 理事から要請を受け、世界ポリオデーの広報を担当し、ポータルサイトを立ち上げました。各地区、各クラブが独自に実施していた行事を計画段階から一元化し、情報を共有することで、活動をこれまで以上に活性化することが目的です。2021年に2750地区が実施した「トレインジャックプロジェクト」など、他クラブの実施事例も紹介されています。

また、世界ポリオデーイベントとして「フォトコンテスト」を開催しました。ポリオ根絶への願いを伝える写真を募ったところ、157点が集まりました。

地域リーダーによるウェブ投票で10点の入賞作が決まり、昨年11月にロータリー研究会の会場となった神戸ポートピアホテルに展示しました。熱心に見入る方々が多く、研究会では、ジョーンズ RI 会長賞など5点が表彰されました。

ジョーンズ RI 会長賞に選ばれたのは、「やったあー！」というタイトルからも伝わる、熱い思いが込められた写真です。昨年の世界ポリオデーにあわせて、2750地区の宮崎陽市郎ガバナーエレクト（東京三鷹 RC）が、北海道の宗谷岬から鹿児島島の佐多岬まで3週間余りをかけて日本縦断を敢行し、ゴールされた瞬間をとらえています。お酒を断って準備にあたり、成し遂げられた宮崎ガバナーエレクトの表情とともに、シャンパンをかけて祝う鹿児島西 RC の仲間の笑顔にも魅せられます。

ほかにも、募金箱を手に街角に立つ少女や、東大寺の大仏に願いをささげるローターアクターの姿など心あたたまるカットも数々あり、“名カメラマン”の皆さんの視点と腕に感じ入りました。

ポリオの症例は1988年以来、99.9%減少し、現在もポリオが常在する国はアフガニスタンとパキスタンの2か国のみです。

ポータルサイト、そして、皆さんの気持ちを凝縮した写真が寄せられたフォトコンテストが、ポリオ根絶実現に少しでも役立つよう願っています。





第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 吉原 久司（尾道）

第3地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐に就任して1年目が終わろうとしていた頃、先輩コーディネーターから「地域リーダーがそれぞれ個別に活動していたのでは、効果が分散してしまうので、出来るだけ多くの地域リーダーを巻き込み、集中した活動をするように。」と助言されました。

その最も重要な活動は、佐藤芳郎 RI 理事が推奨された「日本 POLIO-DAY」を実施し、みんなでポリオブラスを盛り上げようということでしたが、残念ながら、私の地区・クラブでは、準備不足のため、中途半端に終わってしまいましたので、反省を込めて、次年度に向けてのアイデアをご提案してみたいと思います。

「地域リーダーを巻き込んだ集中した活動」の具体的なイベントとして、ゴルフ大会、野球大会といった運動系、ヒストリックカー、ラリー、ドライブなどの趣味系、ワイン、料理などの家族会系、地域に以前からある祭りに協賛する地域密着系などがあります。いずれにしても大切なのは、その活動をどのようにメディアにアピールしてもらうか、そしてロータリアンのみならず、ローターアクト、インターアクト、その他の地域の方々とどれだけ結集できるかにかかってくると思います。

例えば、ポリオブラスのイベント企画し開催する場合の道筋として

- ① イベントを企画・開催と地域リーダー
チャリティー等の企画・開催 ⇒ RRFC・EPNC
ラジオ・新聞・テレビ等メディアを通してアピール ⇒ RPIC
ロータリアンだけでなく幅広く地域の人々を結集して開催 ⇒ RC
- ② 開催したイベントについて、報告会や表彰をする機会を持つ
オープン例会を開催し、幅広い形で周知する ⇒ RC
地区大会での表彰、ガバナー月信、地区ホームページで取り上げる ⇒ RPIC
- ③ イベント等のコミュニケーションの場を借りて入会勧誘を行う ⇒ RC

RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)、EPNC(ポリオ根絶コーディネーター)、RPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター)、RC(ロータリーコーディネーター)は、いつでも、各クラブ・地区への協力を借しませんが、お声がけ頂ければと思います。

ガイ・ガンディカー氏(1923-24RI 会長)は「ロータリー通解」＜自己の職業分野と社会に対するロータリアンの義務と責任＞の中で、ロータリアンがクラブの中で学んだことを、自己の職業分野や地域の方々に進んで啓蒙するようにと説いており、平素からロータリーの原理と理想を説き、ロータリーの他人に対する思いやりの精神とロータリーの職業倫理基準を伝える義務を負っているとまで述べています。

「地域リーダーを巻き込んだ集中した活動」など、色々なイベントを開催するにあたり大切なのは、こういった日常のロータリアンの活動であり、引いては、これらが会員勧誘に通ずる重要なことであると痛感しました。





1. 2人目の紺綬褒章受章者が誕生

国際ロータリー第2750地区（東京都）東京中央RC会員の大津 穰氏が、ロータリー米山記念奨学会への寄付により、昨年9月27日に紺綬褒章飾版を受章され、12月15日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われました。

当会では2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、大津氏が2人目の受章者です。紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者に与えられ、飾版は、すでに褒章を受章した者が同種の褒章を受章した場合に授与されます。大津氏は他団体への寄付を含め、自身2度目の受章となります。褒章伝達式当日は、お祝いに駆けつけた同地区の三浦眞一理事、柳田一行米山記念奨学委員長がご臨席のもと、当会の相澤光春副理事長から褒章が伝達されました。

大津氏は、「紺綬褒章の受章を大変嬉しく思い

ます。今後のロータリーの発展と、米山記念奨学事業が目指す、世界平和の実現のために力になれるように努めてまいります」と述べ、会員の皆さまから温かい拍手が送られました。



褒章を受け取った大津氏(中央)

2. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —

前年同期比

+ 7.4%

普 - 1.1% 特 + 10.6%

12月までの寄付金は前年同期と比べて7.4%増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:10.6%増）、約6,300万円の増加となりました。12月単月の特別寄付金において

は前年より2,600万円増となり、2009年度以降で最大の寄付額となりました。高額寄付の件数も多く、皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。1月中旬には「2022年度下期普通寄付金のお願い」を当会から各クラブへお送りする予定です。年初早々からのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

3. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

12月7日、2023-24年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを、感染対策を徹底した都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、神野重行常務理事の講話から始まり、寄付、学務関連について事務局から説明。滝澤功治副理事長からは、学友会に関する規程についてご説明いただきました。

午後の部では、事務局から広報関連、来年8月開催予定の「再会 in 関東」について紹介。事例発表として、大久保章宏理事から、今や第2800地区（山形）の地区大会シーズン恒例行事とな

った「米山ナイト」の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2700地区（福岡・長崎・佐賀）の吉田廣幸次期米山委員長から、同地区の寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」、「指定校選定と奨学生選考について」、「学友・学友会について」、「奨学生の選考と危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、井原實常務理事の講評で締めくくられました。

4. 台湾米山学友会が総会を開催

12月10日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にオンラインでもライブ配信されました。3年ぶりに国外からの会場参加が可能となった今回、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集まりました。

総会は、林志昇^{リンシンショウ}理事長（1992-94/津RC）の開会の挨拶で幕を開け、韓国米山学友会の全炳台^{ジョンビョンテ}会長（1980-83/仙台北RC）、当会からは、滝澤功治副理事長が出席し、日ごろからの積極的な支援活動への感謝を述べました。また、同学友会は独自で現地日本人奨学生を長く

支援しており、会場参加した奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。久々の対面での総会で、改めて米山のつながりを確認することができた同学友会は今年、節目の創立40周年を迎えます。



5. ウクライナから避難した学友 —母校が受け入れ—

ウクライナ出身の米山学友、コベリャンスカ・オクサーナさん（1998-99/奈良RC）が12月15日、自身の世話クラブであった奈良RCの例会にて卓話を行いました。オクサーナさんは、ウクライナの情勢悪化を機に、母国からの避難を余儀なくされ、米山奨学生時代に自身の留学先であった天理大学と天理市のサポートにより来日。2022年4月から、同大学の職員として勤務しています。オクサーナさんによる、スピーチの冒頭の一部をご紹介します。

「私は1995年に天理大学に留学し、98年に奈良RCの米山奨学生になりました。当時のウクライナは旧ソビエト連邦から独立し、経済や政治体制の構築を始めたばかりで、国家的に大変な時期でした。来日後も、両親からの支援は

望めず、生活費を稼ぐので精一杯でした。米山奨学生になったことは、勉学に集中できることを意味し、とてもありがたかったです。最初に参加した例会で、奈良RCの会長が『この奨学金は、学生を支援するためのものです。勉強する時間を確保するためのものです。そして帰国後は日本に関連した活動を続けてほしい。それぞれの国で、日本語や日本文化を広め、自国との国際関係を促進することを望んでいます。これが、私たちの未来への貢献です。それを忘れないでください』と、仰いました。この言葉は今でもはっきりと覚えています。初めて奨学金をもらったとき、喜びだけでなく、自分の中で責任感と覚悟を感じました。会長の言葉の通り、私はこれまでに、約30の研究論文、4冊の辞書、2冊の日本語・日本文化学習者向けの教科書を出版するなど、人生の大半を日本と関わりながら過ごしてきました。今回、このようなご支援をいただいた、母校の天理大学と天理市、そして日本の皆さまに心から感謝の気持ちを申し上げます。ロータリー米山記念奨学会の事業は、日本語や日本文化を世界に広めるためにとっても重要な活動であることをお伝えしたいと思います。米山の繁栄と、多くの感謝の気持ちを持った学生たちが、それぞれの国で日本との国際関係を強化するために活動を続けてくれることを祈念します」。



卓話を行うオクサーナさん

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・長尾(ながお)

09 地区大会報告

2022年12月9日～11日に行われた地区大会では、多くの皆様にご参加・ご協力いただき誠にありがとうございました。
おかげさまで無事、全プログラムを終了することができました。心より感謝申し上げます。

国際ロータリー第2550地区 2022-23年度 地区大会を振り返って

国際ロータリー第2550地区
2022-23年度ガバナー 佐貫直通

12月9日（金）地区大会記念ゴルフ大会

ガバナー所属クラブが準備・開催を担当し継続的に開催されているゴルフコンペで、ロータリアンが楽しみにしている記念ゴルフ大会。みんなのためにと早朝6時集合となっていたので、メンバーに遅れてはならぬと思い車に乗り込んで走り出すと、とても大きな感動するほどの満月が西の空に鎮座し、「頑張れ！」と我々を応援していました。

会場に着けば、宇都宮陽東ロータリークラブのメンバーがどんどん集まってきて準備に入っていきます。だれが指示するのでもなく、誰が偉いなんて言う人もなく、これこそ我が宇都宮陽東ロータリークラブ！みんなが活動している姿の素晴らしさ、これこそロータリーでしょう。私はゴルフには参加できませんでしたが、参加者がいらっしやる玄関に並び、声をお掛けしお迎えしました。最後の一人の参加者が到着するまで玄関に立ち、お待ちして声を掛けました。ロータリーの友が集まるゴルフ大会です。「楽しいロータリーになってほしい」の一点です。メンバーに対する敬意、これもロータリーの美しい姿ではないでしょうか。本音はだいぶ寒く、震えながらの頑張りでした。

プレーが始まれば送り出し、プレーが終わったメンバーが来れば迎え、宇都宮陽東ロータリークラブは人数以上に、おもてなしの気持ちはいっぱいです。

楽しくゴルフをなさった方々が戻ると一安心。全員が表彰式には出られませんでした。この雰囲気は楽しさいっぱいでした。これもロータリーでの和やかさでしょうか。



12月10日（土） 会長幹事会指導者育成セミナー RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

コロナ禍での開催でどう対応しようかと皆で頭をひねりながら知恵を出し合い、安全で皆さんに喜んでもらいたいと一生懸命考えました。

山崎 RI 会長代理のご講演では、お話だけではなくロータリアンが参加できるパネルディスカッションを取り入れ、一人でも多くのメンバーに今のロータリーを知ってほしいと考えました。山崎 RI 会長代理にもお考えがあり、今回のスタイルとなりました。山崎 RI 会長代理のご尽力によるところが多く、感激する「指導者育成セミナー」ができました。ここにもロータリーの、上に立つ役職の素晴らしい姿を拝見することができました。この姿もロータリーの素晴らしさです。

歓迎晩餐会では、音羽シェフが自ら調理場に立ちご尽力いただきました。世界のシェフ・音羽氏が、ご自分のレストランを休み我々ロータリアンのために会場に来て、自ら料理に携わってくださった。ロータリーだからこそ、世界の料理人が気遣ってくれたと感じました。参加した他地区のガバナーの皆さんが「とても美味しかった、素晴らしい」と声をそろえ絶賛して下さいました。

ぜひ機会を作りオトワレストラン行って、食の感動を感じロータリーの感動を思いだしてください。

12月11日（日） 地区大会本会議

2550 地区のロータリアンばかりでなく、各地区のガバナーやロータリー関係者も多く参加していただき、とても盛会で有意義な日でありました。

米山記念奨学会関係者、ロータリー財団ブース（特に今回はロータリーカードの広報に力を入れていました）、世界大会関係ブース、緊急医療班ブース、などを設置しました。多くのメンバーが立ち寄り、コロナ禍の3年間の壁を乗り越え、ロータリーの友情を感じながらのリアル本会議となりました。閉会まで多くの参加者が席を埋めていたことを実感し、ロータリーの素晴らしさを感じたのではないのでしょうか。その中でも、ローターアクトクラブやインターアクトクラブのメンバーが参加しての活動が目にとまったことと思います。若いローターアクター・インターアクターたちにも会場での活動を展開していただき、ロータリーを実感したことで、これからのロータリーの力となれることと思います。今、若きロータリアンの力が必要となっており、さらに大きな変革期に入っています。



「変革無くして進歩無し」とまで語られている現在の社会で、ロータリーはロータリーの素晴らしさ守り、さらに変えるところは変え、明日に歩いて行くことが求められているのではないのでしょうか。素晴らしい伝統は残し、変えるところは変えて進歩していく、そういう時代になっています。

歴史を振り返ってみてください。江戸時代の武士時代から明治の産業・文化改革、大正時代、昭和時代、平成時代、そして令和時代へとつながり、それぞれの時代で大きな変革があり進歩してきていることを感じて下さい。時代とともに社会全体の変化に伴う進歩がありますが、ここにロータリーの歩みの一端もあるのではないのでしょうか。ロータリアンが先駆者になっての変革もあり、ロータリアンたちが大きな仕事を成し遂げてきています。

今回の記念講演には、国際的建築家・隈研吾氏をお呼びすることができました。これもロータリーが社会的に認められ、信頼ある組織だからではないのでしょうか。隈氏のお話からも、一極集中期から分散期に入り建築が変革してきている、と感じる講演会でもあったように考えます。今回、単なる国際建築家の講演で終わらず、大人数の中から質問を受け、若いローターアクターやインターアクターからの質問にもお答えいただきました。この光景を目の当たりにして、みなさんはどう感じましたか？

単なる講演会で終わらず、一歩前に出た講演だったと感じたのは私だけだったのでしょうか？

この素晴らしい出来事（青少年を育てていく）を将来につないでいくことも、我々のロータリーの活動でもあると思います。

ロータリー活動を知って、ロータリー活動に参加して、ロータリーで汗を流し、みんなで社会を支えていきませんか。皆さんの力が、今必要です。我々のロータリーに出来ることから、活動に取り掛かっています。是非ご参加ください。今回の地区大会が、今後の活動の契機になればうれしく思います。皆様のご協力・ご尽力に、この場をかりて心より感謝申し上げます。



地区大会総括

2022-23 年度 地区大会実行委員長
宇都宮陽東ロータリークラブ 菊地澄男

三年振りに会員が一同に会して地区大会を開催することができました。改めて感謝申し上げます。今回は、例年より少し遅い大会となりました。会議場のオープンに合わせた為の変更となり地区の会員の皆様には、大変ご迷惑をおかけ致しました。12月9日（金）の親睦ゴルフに始まり、10日（土）の会長幹事指導者セミナー、夜は地区内外から多くのガバナー・令夫人をお招きしての晩餐会。料理は、日本を代表する音羽シェフ監修のフランス料理をご馳走になりました。12月11日（日）本大会は、宇都宮駅東にオープンした会議場（ライトキューブ、隈研吾氏設計）にて役 1,100 名の会員参加の下、盛大に開催されました。国際ロータリー RI 会長代理・山崎淳一様の講演に始まり、午後の基調講演は大変忙しい中スケジュールを調整して頂き、世界的建築家・隈研吾先生をお招きしての講演となりました。最後に、陽東ロータリークラブからは、2011-12 年度に比企ガバナー、2022-23 年度は佐貫ガバナーと 2 人目のガバナーを輩出するに至り、実行委員長としてまた陽東会員として 2 度も地区大会の開催クラブの経験をする事が出来たこと、大変有り難く存じております。それから地区幹事・橋本正行氏、大会実行幹事・鈴木修司氏、また陽東会員並びに関係者に対し大変お世話になりましたこと、改めて感謝申し感謝申し上げ大会の総括と致します。



地区大会記念ゴルフ大会を開催 12/09

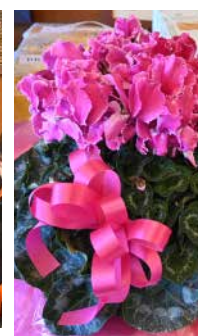
2022-23 年度 地区大会記念ゴルフ大会実行委員長
宇都宮陽東ロータリークラブ 安藤寛樹

2022-23 年度地区ゴルフ大会が、宇都宮カンツリークラブにおいて開催されました。今年は12月の寒い時期となりましたが、192名の参加をいただき、開催することができました。

当初心配した寒さも思ったより暖かく、気持ちよくプレー出来て何よりでした。今回のチャリティにつきましてはウクライナの支援を目的とし、日本赤十字社を通して20万円寄付をさせていただきました。

真冬の朝、トップスタートは7時15分。遅れることなくスムーズにスタート・プレーできたことは良かったと思っています。

今回、ホストである当クラブ（宇都宮陽東 RC）に実行委員会を立ち上げ、組合せ、賞品、会場係、成績発表等各担当者にご協力頂き、特に出迎え・受付は早朝6時集合という寒い中、ご苦労様でした。おかげ様で楽しい記念ゴルフ大会が開催できたと思っております。多くの皆様にご協力頂き感謝申し上げます。



各優勝者

オールドグランドシニア	優勝者	高山 實様	陽東 RC
グランドシニア	優勝者	山口 久一郎様	真岡西 RC
シニア	優勝者	矢治 和之様	宇都宮 RC
レディース	優勝者	川辺 康子様	宇都宮南 RC
一般	優勝者	朴本 則仁様	今市きぬ RC
団体戦	1 位	宇都宮 RC	
	2 位	宇都宮陽東 RC	
	3 位	今市きぬ RG	

12/10

会長・幹事会

地区指導者育成セミナー

山崎淳一RI会長代理ご夫妻

歓迎晩餐会について

2022-23 年度 地区幹事
宇都宮陽東ロータリークラブ 橋本正行

3年ぶりに従来のような地区大会が開催されました。地区大会の第1日目は、会長・幹事会、地区指導者育成セミナー、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会です。

会長・幹事会は、佐貫直通ガバナーの挨拶後、地区会計収支報告の監査報告と承認、そして各委員長の上半期の報告を行い終了しました。

次の地区指導者育成セミナーでは、テーマとしまして「ロータリーの変革と成長」を掲げ、山崎淳一RI会長代理の基調講演とその後のパネルディスカッションでは山崎淳一RI会長代理と地区外で活躍しています鈴木宏、中谷研一両パストガバナー、そして佐貫直通ガバナーの4人でテーマに沿い、それぞれの想いを語って頂きました。

特に山崎淳一RI会長代理は自分のロータリー観を表す「街づくりと人づくり」の書籍をクラブ会長及び地区役員の皆様に贈呈して頂きました。ロータリーは「親睦」と「奉仕」。「親睦」は「出会い」から始まるとの内容に、私は非常に大きな感銘を受けました。

夜には、山崎淳一RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が開かれ、この晩餐会で力を入れたスペシャルな食事でもてなしました。

今、宇都宮が誇れる、県内より県外での評価が非常に高いオトワレストランの音羽和紀氏に料理の監修をお願いし、出席者に満足をしていただこうと考えました。

約200名のロータリアンにフルサービスをし、かつ料理のクオリティが高く、素晴らしい時間が共有できたと感じております。音楽も同様に数々の賞を受賞している倉沢大樹さんをお願いし、リクエストによる演奏等で出席者を楽しませてくれました。

最後に、この企画に協力して頂き、お客様満足と奉仕の精神で実現させていただいた「ベルヴィ宇都宮」様に感謝いたします。

追伸:地区外のガバナーと奥様方と二次会に行きましたが、さすがは要職になる皆様方のパワーには脱帽です(苦笑)



地区大会総括

2022-23 年度 地区大会実行幹事
宇都宮陽東ロータリークラブ 鈴木修司

国際ロータリー第 2550 地区ロータリアンの皆様、地区大会はお楽しみいただけましたでしょうか？

宇都宮陽東ロータリークラブ 49 名の会員が力を合わせて、3 日間の大会ホストを行いました。

私は、地区大会実行幹事を務めさせていただきました鈴木です。

今回の地区大会ホスト役は、宇都宮陽東ロータリークラブ創立以来 2 度目となりました。

前は 11 年前ですので、クラブメンバーも半数ほどの会員が地区大会ホストを経験しておりました。

ただ以前と違いましたのは、地区大会会場が宇都宮グランドホテルではなく、ライトキューブ宇都宮ということ。ホテルでの開催ですと、何度も地区大会を経験されたホテルマンがいるので、比較的安心してお任せできたのですが、今回は市の施設で、しかも地区大会開催の数日前にオープンするという施設での開催でしたので、準備もさることながら、本当に地区大会当日に会場を利用できるのか？という心配も我々にはございました。

それでも 2550 地区の様々な方からのご協力、そして我がクラブ会員一人一人の積極的な協力により、無事終了することができました。

大会に参加されました皆様には、心より御礼を申し上げます。また皆様のロータリーの友情に感謝します！



【特別寄稿】

2022-23 佐貫年度 地区大会を終えて

2021-22 石田ガバナー年度・地区幹事
真岡ロータリークラブ 金子正男

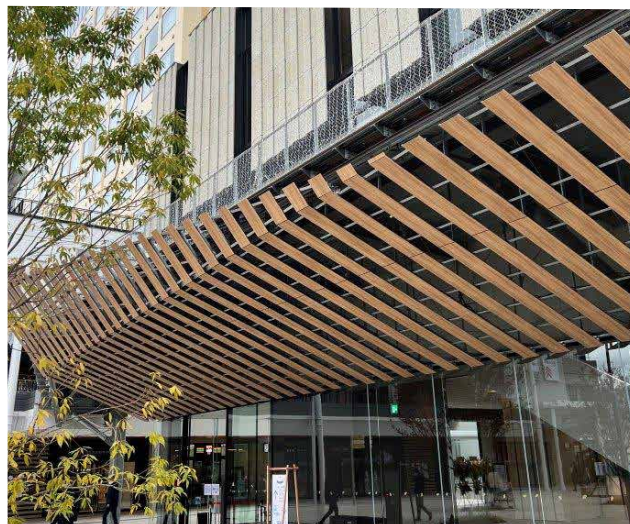
前々日の記念ゴルフ大会・前夜の山崎 RI 会長代理の晩餐会を終えて、地区大会本会議が始まる朝、私は石塚地区資金委員と早めに近くのホテルより会場に向かいました。会場近くではすでに我メンバーが、のちに聞いた「女子高生が集まるように設計した」というカフェに居て盛り上がっていました。3年ぶりの通常大会開催であり、その後他クラブの方々もたくさん集まり、登録前から大盛り上がりでした。

定刻に受付が始まり、懐かしい他クラブの方々との会話があちこちから聞こえている中、いよいよ佐貫ガバナーの点鐘で幕が開き、大会が始まりました。

通常の地区大会…久々です。久々に地区の会員に会えるだけでも感動です。まだコロナ禍の中、佐貫ガバナーを支える橋本地区幹事、鈴木地区会計長兼大会実行幹事、菊地大会実行委員長には頭が下がります。陽東クラブ会員の皆さんが全員で頑張り、今大会開催を実行して頂いた事に感謝です。

通常開催の挨拶の中で、増淵ホストクラブ会長の挨拶には感銘を受けたのを覚えています。のちに記念講演を頂く隈研吾氏同様に、今でも思い出すほどです。

午前・食事を挟んで順調に進み、各クラブ紹介・三井年度への引き継ぎを終えてフィナーレでした。大会終了後、私は家路につきましたが、陽東クラブの皆さんは終了後、手を取り合ったり涙ぐむ会員もいたのでは？と思います。私ども真岡クラブも、縮小の中で大会を終え感動した時の事を覚えています。何はともあれ、コロナ禍の中で最善の対策を取り、計画・実行・完結に導いた佐貫年度陽東クラブ会員の皆さんに、大きな拍手と感謝です。



【特別寄稿】

RID2550 2022-23 年度

地区大会によせて

2023-2024 三井ガバナー年度・地区幹事
佐野ロータリークラブ 鈴木幸男

コロナ禍により 3 年ぶりに開催された地区大会。12 月 9 日（金）に宇都宮カンツリークラブに於いて行われた記念ゴルフ大会では、多数の地区ロータリアンの参加を頂きました。

12 月 10 日（土）の 2 日目に行われた会長幹事・地区指導者育成セミナーそして R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では山崎淳一 R I 会長代理を迎え、ベルヴィ宇都宮を会場に新型コロナウイルス感染対策を万全に施し、対面式での開催が無事実現されたことが印象に残っております。

地区会長幹事・指導者育成セミナーでは山崎淳一 R I 会長代理による「ロータリーの変革と成長」と題した基調講演、さらには中谷研一地区研修リーダーがコーディネーターを務めたパネルディスカッションが行われ、改めてロータリーの基本理念を学ぶ機会となりました。

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では宇都宮を代表する倉沢大樹氏のジャズ演奏、音羽和紀シェフによるフランス料理等、新しい文化を尊重する県都を充分に感じ、主催者のおもてなしの心に感謝いたします。

12 月 11 日（日）の最終日は地区大会本会議。新たに完成したライトキューブ宇都宮にて久々に対面式での開催となりました。公務多忙の中、栃木県知事福田富一様、宇都宮市長佐藤栄一様のご臨席を賜り、またインターアクト、ローターアクト、青少年交換学生等の若者たちも交えたりアル大会にふさわしい有意義な大会となりました。午後の記念講演では世界的建築家の隈研吾氏を迎え、「コロナ後の都市と建築」と題して講演いただきました。

印象に残りましたのは、講演後の質疑応答の質問に対しての隈研吾氏が優しく丁寧に答えられた姿でした。将来を担う青年の皆様に希望を持てるような説得力のある言葉に感銘を受けました。

大会終了後には参加した会員から「素晴らしい講演会だった」「主催者に感謝をします」と大好評で、今できることに最善を尽くす大切さ、今後の糧となる経験を学ばせていただく大会となりました。

大会をホストしていただいた、宇都宮陽東クラブの皆様には感動・感銘・希望を与えて頂き厚く御礼申し上げます。2023-24 年度も多くの会員の皆様に参加していただき、素敵な印象に残るような大会を開催できますよう努めてまいります。





寄稿募集のお知らせ

ガバナー月信 3 月号・4 月号では、国際ロータリー第 2550 地区各ロータリークラブ・ローターアクトクラブが実施している「奉仕活動報告」を掲載予定です。

クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の分野は問いません。

「自クラブの活動をぜひ他クラブのロータリアンにも知ってほしい!」というクラブは、ぜひご寄稿をお願いいたします。

文字数：400 字程度

写 真：3 枚まで

3 月号×切：2 月 22 日（水）到着分まで

4 月号×切：3 月 22 日（水）到着分まで

提出先：2550 地区ガバナー事務所 m2550@agate.plala.or.jp まで



写真撮影が趣味の佐貫ガバナー
季節に合わせた
栃木の美しい風景をご紹介します。



中禅寺湖畔



踊る水飛沫



福寿草



湯本温泉源つらら



男体山

2月の風景 *Naomichi Sanuki*